

日本総合健診医学会誌「総合健診」投稿規定

投稿内容▶本誌は、総合健診と関連領域の医学の進歩に貢献し、他誌に掲載も投稿もされていない新しい論文等のみを受理します。他誌に未掲載かつ未投稿であること、本学会が定める研究に関する倫理規定を満たしていること、および著作権の日本総合健診医学会への委譲に異存がないことを誓約する著者全員の署名を著作権委譲等誓約書（後掲・表紙2）の様式で添えてください。

研究内容が疫学研究あるいは臨床研究である場合、日本学術会議が定める規範を遵守する研究倫理審査委員会または日本総合健診医学会倫理審査委員会の承認が得られていること、かつ対象者のインフォームド・コンセントが得られていることを要します。また、そのことを論文の本文中に記載してください。症例報告の場合は対象者のプライバシーに十分配慮し、インフォームド・コンセントを取得した上で投稿してください。倫理的な問題のある論文等は受理しません。

学会等で同じ内容の研究を既に発表している場合は、その旨を表紙と原稿の末尾に付記し、別刷または原稿の複写を付けてください

著作権▶本誌に掲載される論文等著作物の著作権は日本総合健診医学会に属します。

電子ジャーナル▶「総合健診」の掲載論文はすべて独立行政法人科学技術振興機構（JST）のJ-STAGEに一般公開され、要旨（抄録）および論文全体（PDF版）がインターネットを通して誰でも閲覧、入手できるようになります。

J-STAGEについては、下記のURLのJ-STAGEのホームページを参照のこと。

J-STAGEのホームページ：<http://www.jstage.jst.go.jp/>

掲載種目▶原著、総説、症例報告、論壇、解説、資料、講座、技術、調査報告、編集委員会への手紙、講演要旨、短報、実践報告です。

掲載種目についての希望があれば著作権委譲等誓約書の「4. 原稿の種類」欄に記されて結構ですが、種目は編集委員会が決定します。

提出部数▶原稿はオリジナル1部とその原稿データを格納したCD-R/RW（筆頭著者ととも使用OS・ソフト名およびバージョンを明記のこと）を提出してください。

投稿資格▶筆頭著者が本学会の正会員、一般会員、施設会員である論文等のみを受付しますが、編集委員会の判断で正会員、一般会員、施設会員以外の投稿論文等を掲載する場合があります。

採否と査読▶投稿論文等の採否は、査読者の意見を参考に編集委員会が決定します。投稿原稿は、まず編集委員会が検討して、本誌掲載に不適の原稿はその旨を著者へ通知し、適した原稿は査読者へ回送します。査読は著者名を知らせる形で査読者に委嘱しますが、査読者名を著者に知らせることはしません。原稿が査読中であることは査読者と編集委員以外には知らせません。編集委員会が不掲載とした原稿は、表紙1の「編集委員会への連絡」欄に特に希望が記されていない場合は返却しません。

著者校正▶受理となった原稿は本誌の形式で編集し、校正紙を著者へ送付しますので、期日までに返送してください。著者による校正後、掲載予定号が発行されるまでの間がある場合、J-STAGEにて早期公開版として公開します。なお、著者校正終了後は、早期公開を含めて内容の変更は認められないため、著者は本誌で編集した形での全記述に責任を負うものとします。

利益相反▶著者全員の投稿日から過去3年以内における利益相反について、投稿時に本学会指定の利益相反（COI）自己申告書に記載の上、提出する必要があります。

論文等の様式▶

原稿の構成（原著・総説の場合）

1. 様式……………MSWordを用い、A4版用紙（縦）に10.5または12ポイントで、1行23字・1枚30行、和文は全角、英語と数字部分は半角で印字してください。
2. 構成・順序…1. 表紙（投稿届、著作権委譲等誓約書、投稿論文チェックリスト）
2. タイトルページ（表題、著者（共著者）名、所属、連絡先）
3. 2ページ目（和文抄録、日本語キーワード）
4. 3ページ目（英文抄録、英語キーワード）
5. 4ページ目以降（本文、図・表、参考文献）

3. 表紙……………表紙1、2、3とも本誌所定の様式によって書いてください。本規定から複写、あるいは学会ホームページからダウンロードされても構いません。
4. タイトルページ…表題、著者（共著者）名、所属について和英併記で記載し、下段に校正などの連絡先を明記してください。
5. 和文抄録……800字以内の抄録を付け、5語以内でキーワードを併記してください。
6. 英文抄録……英文抄録の要否は投稿原稿の内容によります。原著・総説・解説として掲載を希望する投稿原稿は英文抄録が必要で、英文抄録のないものは受理しません。
上記以外の種目での掲載を希望する原稿であっても、内容から英文抄録が必要と編集者が判断する原稿で英文抄録が付いていないものは、英文抄録必要との通知文を添え一旦返却しますので、英文抄録を付けて再投稿してください。投稿の受付は英文抄録の付いた再投稿を待って行います。
英文抄録の長さは原著・総説は300 words以内、解説・報告・資料は200 words以内、英語のKey wordsは5 words以内（但し、日本語キーワードと同数）にしてください。
7. 用語……………用語は医学中央雑誌、医学用語シソーラス、日本語医学用語辞典（日本医学会）等を参照し、普遍性のある語にしてください。
8. 略語……………正式略語と慣習的に広く用いられている略語に限り論文中で用いて構いませんが、初出の完全語の後に（ ）で以下略語を用いる旨を記してください。
9. 漢字・仮名…医学用語以外は常用漢字を使用してください。編集の都合等で不適切と考えられる仮名づかい、用語、句読点等は編集委員会で修正することがあります。編集委員会の修正に異存のある際は、著者校正の段階で理由を記して編集委員会に申し出てください。
10. 人・地名……外国の人名、地名は原語を用い、ブロックレターで記載してください。
11. 薬品名……………薬品名は日本語、原語とも一般名（Generic name）を記載してください。
12. 度量衡単位…長さにはm、cm、mm、 μm 、nm、容量にはL、dL、mL、nL、pL、fL、濃度にはg/L、g/dL、mg/dL、重さにはkg、mg、 μg 、pgを使ってください。
接頭語は重ねず、下記のように書いてください（例： μg でなくpgと書く）。
 $10^{-18} = \text{a}$ (atto)、 $10^{-15} = \text{f}$ (femto)、 $10^{-12} = \text{p}$ (pico)、 $10^{-9} = \text{n}$ (nano)、 $10^{-6} = \mu$ (micro)、 $10^{-3} = \text{m}$ (milli)、 $10^{-2} = \text{c}$ (centi)、 $10^{-1} = \text{d}$ (deci)、 $10 = \text{da}$ (deca)、 $10^2 = \text{h}$ (hecto)、 $10^3 = \text{k}$ (kilo)、 $10^6 = \text{M}$ (mega)、 $10^9 = \text{G}$ (giga)、 $10^{12} = \text{T}$ (tera)、 $10^{15} = \text{P}$ (peta)、 $10^{18} = \text{E}$ (exa)
13. 表……………表はMS Word、MS Excelでの作成を推奨します。また、各表には内容説明文を付け、本文中の挿入箇所を示してください。
表の引用に際し、原著者などの許諾が必要な場合は、著者自身で必ず転載許諾をとってください。
14. 写真・図……写真・図はjpgファイルで作成、もしくはMS Word、MS PowerPointに貼付してください。解像度300dpi以上とし、そのまま製版できる鮮明なものに限ります。また、各写真・図は内容説明文を付け、本文中の挿入箇所を示してください。
写真・図の引用に際し、原著者などの許諾が必要な場合は、著者自身で必ず転載許諾をとってください。
15. 統計処理……統計処理を行った時は統計学的検定法を明記してください。
16. 文献……………原著は30、その他は20以内。引用順に番号を付けて末尾に一括し、下記の例を参考に著者名、表題、誌名、発行年（西暦）、巻、頁の順に記載してください。
 - ・雑誌文献 引用番号 著者名（6名以内は全員列記、7名以上は最初の3名 他またはet al）：論文題名. 雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁.
 - ・単行本文献 引用番号 著者名（同上）：論文題名. 編者名. 書名, 版数, 発行地, 発行所, 発行年（西暦）；頁.

・雑誌名略号 医学中央雑誌刊行会略名表およびIndex medicus所載の略号

〔文献記載例〕

- 1) 日野原重明：日本における多項目総合健診の過去と現在と未来. 日総合健診医学会誌 1993; 20: 5-7.
- 2) Collen MF: Evaluation of MHTS. Chap. II Evaluation of Progress in Health Monitoring. Yasaka T. ed., Proceedings of the International Conference on Automated Multiphasic Health Testing and Services. Amsterdam-Oxford-Princeton: Excerpta Medica, 1981; 105-39.
- 3) 高橋敦彦, 久代登志男：負荷心電図, 心エコー, その他. 健診・人間ドックハンドブック, 改訂4版, 東京, 中外医学社, 2011; 186-95.
- 4) 厚生労働省保険局：特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き (Ver1.8). 厚生労働省, 2008. (オンライン) 入手先 <<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info03d.html>>, (参照 2012-5-5)

17. 枚数制限…

種 目	文 字 数
原著・総説・講座・解説	12000文字以内
資料・症例報告・技術・調査報告・短報・実践報告	8000文字以内
論壇・講演要旨	4000文字以内
編集委員会への手紙	1000文字以内

英文校閲▶英文校閲は原則として投稿前に著者の責任で行ってください。業者等に依頼した場合など、投稿届に校閲者の署名が取り付けられない場合は、校閲証明書等を投稿届に添付してください。

掲載料等▶原則無料です。ただし、頁数が大幅に超過する場合は、超過掲載料（刷り上がりで1頁あたり10,000円）を申し受ける場合があります。

なお、トレーシングや特殊印刷技術（カラー印刷等）を要する場合、技術料実費は著者負担となります。

原稿送付と返却▶投稿論文他、必要書類一式は、郵便にて下記の住所宛に送付してください。投稿届、著作権委譲等誓約書は、学会ホームページからダウンロードするか、または「総合健診」に掲載している様式を使用してください。掲載論文の原稿は原則としてお返ししません。原稿の返却を特に希望される場合はその旨を表紙1（本誌投稿届）の8.「編集委員会への連絡」欄に書き添えてください。

別刷▶別刷のご注文には実費（下記）を申し受けますが、原著掲載論文と招請論文は30部まで無料です。

	1～4頁	5～6頁	7～8頁	9～10頁	11～12頁	13～14頁	15～16頁	17～18頁
50部以下	4,000円	6,000円	7,000円	9,000円	11,000円	13,000円	15,000円	19,000円
51～100部	4,500円	6,500円	7,500円	9,500円	11,500円	13,500円	15,500円	20,000円
101～200部	5,000円	7,000円	8,000円	10,000円	12,000円	14,000円	16,000円	21,000円
201～300部	5,500円	7,500円	8,500円	10,500円	12,500円	14,500円	16,500円	22,000円
301～400部	6,000円	8,000円	9,000円	11,000円	13,000円	15,000円	17,000円	23,000円
401～500部	6,500円	8,500円	9,500円	11,500円	13,500円	15,500円	17,500円	24,000円

規定の改訂▶投稿規定は改訂することがあります。本規定は2020年6月から施行のものです。

原稿送付先▶〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目31-10 セシア千駄ヶ谷ビル2階
日本総合健診医学会 事務局
Tel：03-5413-4400 Fax：03-5413-0016